

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年2月8日

【会社名】 株式会社レッド・プラネット・ジャパン

【英訳名】 Red Planet Japan,Lnc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング

【本店の所在の場所】 東京都港区赤坂一丁目7番1号

【電話番号】 050-5835-0966

【事務連絡者氏名】 取締役 王生 貴久

【最寄りの連絡場所】 東京都港区赤坂一丁目7番1号

【電話番号】 050-5835-0966

【事務連絡者氏名】 取締役 王生 貴久

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
東京都中央区日本橋兜町2番1号

1【提出理由】

当社連結グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

平成28年2月4日(取締役会決議日)

(2) 当該事象の内容

当社グループの財政状況、平成27年9月期通期連結累計期間において、以下の事由により、特別損失並びに営業外費用を計上いたしました。

営業外費用の発生

持分法適用関連会社である株式会社フード・プラネット(旧:株式会社アジェット)の株式評価額について同社が発表した平成28年1月20日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」を受けて見直しを行った結果、同社評価額を減損処理することが妥当と判断した結果、持分法による投資損失として計上いたしました。また、当社のRed Planet Hotels Paso Tamo Corporationに対する貸付金および連結子会社が所有するウェンディーズ・ジャパン合同会社の社債について回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額として計上いたしました。その他、支払利息及び株式交付費を計上いたしております。

特別損失の内容

当社グループで展開しております飲食事業について、のれんの評価および個別店舗の固定資産の評価結果、減損処理を行い損失として計上いたしました。また、Red Planet Hotels Paso Tamo Corporation に係る投資有価証券評価損、連結結子会社Fortune One合同会社にて発生した不正返金被害を計上致しました。

(3) 当該事象の損益及び連結損害に与える影響額

当該事象の発生により、平成27年9月期通期連結累計期間において、営業外費用として特別損失としてののれんの評価及び個別店舗の固定資産評価損519,052千円、投資有価証券評価損28,299千円、固定資産売却及び同除却損9,362千円、和解金14,000千円その他30,613千円、営業外費用として、持分法による投資損失767,095円、貸倒引当金繰入額529,999千円、株式交付費12,570千円及び支払利息62,288千円を計上いたしました。

以上